

ICA ヤウンデ 2018 宣言（参考訳）

会合決議

アフリカにおける能力開発にかかる計画

国際公文書館会議

ヤウンデ、カメルーン 2018

アーカイブズや記録保存の分野における、アフリカ大陸が直面している課題を議論するため、70 カ国以上の国々から 500 名を超える代表者が集まった国際公文書館会議（以下、「ICA」という。）ヤウンデ年次会合 2018 にのぞみ、

ICA がアーカイブズ諸機関のためにリソースや能力の発展に努めることを誓った 2016 ICA ソウル大会宣言「アーカイブズ・調和・友情—ソウルの精神を維持する」を思い起こし、

アーカイブズが、開発、透明性、アカウントビリティを可能にするものとしての重要性や価値について、政府の上級の意思決定者や地域的・国際的資金援助団体、市民団体の援助によって、アフリカのアーキビストがより多くの取組みや理解を持たなければならないことに留意し、

アフリカの人々同士の、そしてアフリカの人々と国際社会との対話と交流を通じてこそ、アフリカの要求に応えられるということを、国際的なアーカイブズのコミュニティに気づかせ、

また最後に、多くの重要なアフリカの記録遺産が外国機関の管理下であり、アフリカのコミュニティから実質的にアクセスできない状況のままであることを配慮します。

この歴史的な年次会合における、人的・物的資源を確保することのできる国際社会及び地域的意思決定者の代表者達の参加は、アーカイブズ、アーカイブズにかかるプログラム、記録保存、そして権能ある職業集団の、発展、構築、そして継続的な維持に貢献するものです。

上記への認識のもと、ICA と他の国際・地域組織は、ICA ヤウンデ 2018 の代表が表明した意思に基づき、以後、それぞれが可能な範囲で、それぞれの機関のために、以下のことに努めるものとします。

1. アフリカにおける記録遺産の保護と保存が、民主化、電子化、そして開かれたガバナンスの前進に関する主要な課題に関わっていることを確認するよう、努めます。
2. ICA アフリカプログラムを 2018 年から 2024 年まで継続し、ICA 通常総会を通じて、アーカイブズ・記録保存コミュニティに対し、毎年報告を行います。

3. Agenda 63 のような、地域的・国際的開発に関連する国家的開発計画をとおして、アフリカ大陸全体において、アーカイブズに係るプログラム、政策、アーカイブズ機関の発展を促進します。
4. ICA 研修プログラムと、アフリカのアーカイブズ・記録管理コミュニティを対象とした内容の開発を継続します。
5. アフリカの記録遺産を保護・保存する手段や仕組みの発展のための世界的な他の専門家ネットワークと協働します。
6. アメリカの多くの国のアーカイブズにかかる所蔵資料は、大部分が公的記録であり、その知識が脅威にさらされている周縁に置かれた人々、先住民族の人々の声や経験を反映したものではないことを心にとめ、本年次会合は ICA に対し、先住民族の知識が収集され、保存され、アクセス可能となるよう確保するため、知識体系を捕捉し、記録し、保存することに関心を持つ他の機関と協働し、取り組むよう促します。
7. アフリカ諸国が、長年にわたり、持ち去られた記録遺産の問題を追い続け、多くが成功していない状況に鑑み、本年次会合は ICA に対し、引き続き本課題について、ユネスコとアフリカ連合とともに、持ち去られた記録遺産を扱う枠組みを検討するよう促します。
8. 特に独立以前の時代に関連する、様々なアーカイブズ資料の体系的特定とアクセスの共有にむけて、アフリカ諸国間の協力を促します。